

大阪故鉄 設立70周年特集

人材育成と働き甲斐のある企業づくりを両立

大阪故鉄(本社：大阪市住之江区、矢追大祐社長)は22年1月に設立70周年を迎える。堅実な経営スタイルが同社の代名詞として位置付けられるが、常に時代の変化を直視し、社会ニーズに適合した企業を目指してきたことが強固な経営基盤を作り上げたといっても過言ではない。ここ数年は人材の確保と育成に力を入れ、若手世代が次の時代の架け橋となるべく着実に成長を遂げている。巧みに世代を紡ぎながら、企業として成長を続ける同社の歴史を振り返るとともに、将来の担い手である若手社員に入社し、きっかけや自身の在るべき姿などについて語ってもらった。

時代の変遷を幾多も乗り越え

府内屈指の企業として存在感を発揮

大阪故鉄の創業は1946年に遡る。現社長の祖父にあたり、創業者の矢追欣爾氏は1934年に大阪の指定商である浪華商會に入社し、商売のノウハウを叩き込まれたことをきっかけに、そこから生涯にわたって鉄スクラップ業に従事する。38年に鉄スクラップを国家管理の下に置くために、鉄屑統制會社が設立され、その下部組織として関西金属回収団が立ち上がった。そこへ指定商から1名を出向させなければならず、経理に精通する欣爾氏がその任務に就いた。42年に指定商と関西金属回収団が1つの組織となり、個人での営業が停止されたため、欣爾氏は正式に金属回収統制會社の業務部主任として、遊休設備の非常回収や軍需工場のリターン材の管理を担当する。

1945年10月に金属回収統制令が廃止される。同時に、会社解散が決まり、その残務整理を終えた翌46年3月に現在の大阪市浪速区で矢追欣爾商店を創業したのが大阪故鉄の始まりとなる。戦後の混乱期で苦しい生活

を強いられたなか、母親も養う25歳の欣爾氏は鶴橋の闇市で中古自転車を購入し、焼け野原であった大阪の工場街を走り回り、鉄スクラップをやみくもに回収する日々を過ごした。

1948年に住友金属工業(現・日本製鉄)の納入指定問屋となり、その後、61年に住友電気工業、臨港製鉄(現・新関西製鉄星田工場)の納入指定問屋となり、扱ひ量を増やしていくとともに、62年に津守工場(西成区)、66年に深江工場(東成区)を開設。71年には津守工場の閉鎖と同時に、現在の本社がある住之江区に移転した。84年には

処理能力の増強に向けて、当時、大阪府下で初となる1250トンの大型シャワー(富士車輛製)を導入し、大阪を代表するヤードディーラーとしての歩みをすすめてきた。1990年に徹夫氏(現・会長)が社長に就任した後、翌年には本社工場に800トンのシャワーを増設し、2基体制を確立。98年には手狭だった深江工場を閉鎖し、荷受け及び荷捌き能力を最大限に発揮できる工場として、諸福営業所を開設した。本社工場と深江工場が交通の便に恵まれなかった教訓を活かし、諸福営業所は交通量の多い中央環状線と交差する大阪生駒線沿いの幹線道路を選択。

客を呼び込む外食産業的発想の好立地と老舗のネームバリューが持ち込み量の増加にも繋がった。諸福営業所の開設は取扱量の増強だけが目的ではない。徹夫会長は21世紀の金属リサイクル業界が近隣住民や環境との共生が社会から求められることを早くから予見し、未来への環境投資を積極的に打ち出したことにある。防音、防振などの費用を一切惜しまない都市型ヤードは業界内で大きな注目を集め、その後、府内の同業が工場新設やリニューアルに相俟って、諸福営業所をモデルにレアウトや環境対策などを取り入れたのは今でも語り草となっている。

ハードルはかねてより高いとされてきた。しかし、常日頃から会社のために働いてくれる社員の恩義に報いるのは社員の要求に添えることと考え、男性社員の1年間の育児休暇をあっさり認め、これが既成事実となり、男女問わず、育児休暇などを取得しやすい環境を整ったことは若い世代の雇用を確保する上で、同社の大きな強みといえる。大祐社長は求職者が自発的に「大阪故鉄で働きたい」と応募してくることを理想に掲げる。これを現実するには、待遇や育成面のほか、企業としての対外的な評価を高めなければならぬと考へ、21年9月に経済産業大臣から「事業継続力強化計画」の認定を受けたのに続き、11月に環境マネジメントシステムISO14001・2015、12月には中央労働災害防止協会が評価する中小規模事業場労働安全衛生評価事業(グッド・セーフティ・カンパニー)を立て続けに取得した。これ以外にも、経済産業省が企業の健康経営の取り組みを評価する「健康経営優良法人認定制度」の取得も目指し、社内整備の強化に力を入れている。

創業者の欣爾氏、2代目の徹夫氏が時代の変遷を乗り越えながら、業容を拡大してきたように、大祐社長の次代を見据えながら、将来に向けた会社づくりに取り組む姿勢には微塵の揺らぎも感じられない。

次代見据え若手を積極雇用 社員育成と社内整備を強化

19年に社長のバトンを引き継いだ大祐氏は現状の地位に甘んじることなく、真正面から重要課題と向き合ってきた。その1つが人材確保と育成の両面である。同社では少数精鋭かつ社員の定着率の高さによって、営業力、現場力に磨きかけたが、それがいつしか諸刃の剣となり、年数の経過とともに、社員の平均年齢の高さをもたらした。企業としての将来ビジョンを描く上で、「若い世代が次の会社づくりへの取り組みを早くからすすめるれば、企業として厚みを増すことが可能とな

る」(矢追社長)と考え、専務時代から採用活動に力を入れ、18年以降では20〜30代を中心に10名を雇用した。社員の定着率の高さに触れたが、求職者の面接に際して、同社は対話を大切にしている。仕事の内容を良い面ばかりでなく、厳しい面についても隠さず、ことなく予め説明し、雇われる側にとっての入社直後のギャップを生じさせないものとしている。

また、個人差があるにせよ、入社して2〜3年目の社員が急激に成長することを意識し、そうした時期に新たな仕事や役割などを提供し、若手社員に働き甲斐を持たせることにも力を注いできた。18年にこの制度で教育を受けた社員が次代の担い手として、ステップアップを図り、今では新入社員も教育も担当するまでの成長を遂げたことが、育成面での大きな自信へと繋がっている。

経営者が社員に求めるばかりでは社員が求めている。異業種でのサラリーマンを経験してきた大祐社長はそれを熟知するからこそ、社員の求めにも柔軟に対応する。数年前に、男性社員から育児休暇取得に関する相談を受けた。当時は男性の育児休暇における義務化ばかりか、この業界では人手の問題から休暇の

祝 設立70周年 大阪故鉄株式会社様

フジ・マウントシャー スクラップペーラー

当社独自の機構・構造で強力な圧縮成形




大型スクラップから下級スクラップまで幅広く対応

富士車輛株式会社

本社/工場 〒524-0034 滋賀県守山市千代町13番地の1 TEL077-583-1235代 FAX077-582-8805
 東京支店 〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルA-10F TEL03-6402-4184 FAX03-6402-4185
 名古屋営業所 〒458-0801 名古屋市中区緑区鳴海町母呂後8-9 TEL052-621-6900 FAX052-622-8901
 大阪支店 〒532-0003 大阪市淀川区宮原2丁目14-10 中尾ロイヤルビル8F TEL06-6394-4100 FAX06-6394-4102
 福岡営業所 〒812-0064 福岡市東区松田3-7-30 TEL092-622-1758 FAX092-622-1415

URL : <https://www.fujicar.com/> E-mail : kouhou@fujicar.co.jp

祝70周年

大阪故鉄株式会社様



はかり ダイトク

本社・工場 〒551-0011 大阪市大正区小林東1丁目2番40号
 TEL 06-6555-3456 FAX 06-6554-3003

ISO 9001 JIS Q 9001 MS JAB CM004
 大福知事 建設業許可 とび・土木工業 機械器具設置工業(般-29)第147862号



本社・工場
芳 玄太(よしげんた)氏
2018年4月入社

入社後の不安は、面接時に社員の平均年齢が高いと聞いていたため、同年代がいなかったことへの不安はありました。しかし、その後、年齢の近い4名も入社してきてくれたため、その不安はすぐに解消されました。仕事でも矢追社長から営業業務を主に引き継ぐにあたって、細かい部分まで直接的に指導してもらえただけでなく、その過程において、お客様の同年代の方々との繋がりを持てたのが自分にとっての励みとなりました。

自身の将来像を描ける

入社して良かった点、大阪故鉄のネームバリューが営業面で大きな武器となり、経営基盤もしっかりしているため、安心して働くことができます。また、ベテラン社員が多いため、様々なことを学べるばかりか、自分やその世代に近い将来において中核的な存在になれることに対してのやり甲斐も大きく、魅力の備わった会社だと思います。

入社が決まった後、金属スクラップの知識がないことへの不安はありました。しかし、いざ入社すると、どの先輩社員も未経験からスタートしていたため、ゼロから親切に仕事を教えてくれたほか、自身のチャレンジ精神も旺盛だったこともあり、興味を持って、仕事を覚えることができました。また、年齢

前職と大阪故鉄を選んだ背景について、食品関係配送するトラック運転手の仕事に就いていましたが、肉体的な部分に加え、季節によっては勤務時間が長くなるため、将来にわたって働き続けることへの不安がありました。10トトラックの運転手をする前は、重機のメンテナンス会社にも勤め、そこで重機や天井クレーンの資格を取得していました。将来に対して不安なく働けること、自身が保有する資格をフルに活かせる仕事に就きたいと考え、よつになり、求人サイトで会社を探したところ、社風の良さ、さらには企業として安定していることを理由に、大阪故鉄への入社を決めました。

培った技術を活かせる

入社前の不安だった点について、入社が決まった後、金属スクラップの知識がないことへの不安はありました。しかし、いざ入社すると、どの先輩社員も未経験からスタートしていたため、ゼロから親切に仕事を教えてくれたほか、自身のチャレンジ精神も旺盛だったこともあり、興味を持って、仕事を覚えることができました。また、年齢



諸福営業所・工場
鳥居 資生(とりい・もとき)氏
2018年5月入社



本社・工場
龍田 悠司(たつた・ゆうし)氏
2018年12月入社

入社後の不安は、面接時に社員の平均年齢が高いと聞いていたため、同年代がいなかったことへの不安はありました。しかし、その後、年齢の近い4名も入社してきてくれたため、その不安はすぐに解消されました。仕事でも矢追社長から営業業務を主に引き継ぐにあたって、細かい部分まで直接的に指導してもらえただけでなく、その過程において、お客様の同年代の方々との繋がりを持てたのが自分にとっての励みとなりました。

社員を大切にしている会社

入社して良かった点、大阪故鉄のネームバリューが営業面で大きな武器となり、経営基盤もしっかりしているため、安心して働くことができます。また、ベテラン社員が多いため、様々なことを学べるばかりか、自分やその世代に近い将来において中核的な存在になれることに対してのやり甲斐も大きく、魅力の備わった会社だと思います。

おかげさまで設立70周年

おかげさまで大阪故鉄は、2022年1月に設立70周年を迎えることができました。これもひとえに皆様の長年にわたるご支援とご厚情の賜物と深く感謝申し上げます。当社は『鉄リサイクル事業を通じて我が社に関わる全ての人の幸せと、地域・社会の発展に貢献することを目的とする』を経営理念として、これからも全社一丸となって皆様方のご期待ご要望にお応えしながらスクラップ業界ならびに地域社会の発展に貢献していく所存でございます。今後とも尚一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

代表取締役 矢追 大祐



本社・工場 〒559-0026 大阪市住之江区平林北1丁目2番22号
TEL(06)6681-5761(代) FAX(06)6681-5766
諸福営業所・工場 〒574-0044 大阪府大東市諸福7丁目4番38号
TEL(072)874-9861(代) FAX(072)874-9866

